

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和7年10月23日（木） 午後0時50分～午後6時30分

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、サイバー・情報管理局長、監察課長、公安委員会補佐官

3 陪席

総務課長

第4 委員説示

委員から、「先日、県民の警察官の表彰選考会に出席した。今年は男性警察官が選ばれたが、近年女性の活躍が目立ってきており、女性警察官が選ばれる日もそう遠くないだろうと感じている。また、他の県警察では女性の警察署長も誕生しており、近い将来、当県においても、そのような日がくるだろうと期待している」旨の発言があった。

第5 議題事項

1 飲食店営業者（深夜における酒類提供飲食店）に対する聴聞の実施について

県警察から、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第34条第2項の規定による営業の停止に該当する飲食店営業者に対して聴聞を行う旨の説明があり、審議の上、了承した。

委員から、「今回、違反が発覚した店舗以外にも、違法な営業を行っている店舗があるかもしれない。違反情報は様々な角度から入ってくると思うので、そのような情報を端緒に、公平・適正な取締りをお願いしたい」旨の発言があった。

2 警察官の特別派遣について

県警察から、三重県公安委員会からの援助の要求に係る警察官の特別

派遣について説明があり、審議の上、了承した。

委員から、「季節の変わり目でもあるので、体調管理には十分留意し、しっかりと任務を全うしていただきたい」旨の発言があった。

第6 報告事項

1 9月県議会定例会の開催状況について

県警察から、9月県議会定例会において、代表質問では「県民の安全・安心の確保に向けた取組」等について、総務委員会では「多文化共生社会に向けた取組」等について、一般質問では「若者の大麻乱用防止への取組」等について、それぞれ質疑答弁が行われた旨の報告があった。

委員から、「近年、若者による大麻使用が深刻化していることから、小・中・高校生等の若年層に対して、大麻の危険性等についてしっかりと教育や広報啓発活動を行っていただきたい」、「議員から「警察官の人材確保と育成」について質問があったようだが、最近は、働くこと自体に不安を持つ若者が増えているので、その辺りにも留意した採用募集活動を行う必要があると思う」、「議員からの質問にもあったように、県内においても外国人観光客の増加や外国人材の受入れが進む中、今後、外国人が関わる交通事故や犯罪等が増えることが予想される。そもそも言語、文化、宗教等が異なる外国人に対して、どのように日本の社会ルールを認識させ、理解させるのかが、今後の大きな課題になってくると思う」旨の発言があった。

2 活動服着用時のネクタイ着用の省略について

県警察から、活動服着用時にはネクタイの着用を省略可能とすることとし、冬制服着用開始日から運用を開始する旨の報告があった。

委員から、「現場活動時には、警察官が着用するネクタイを不用意に掴まれ受傷事故につながることもあると思うので、今回、ネクタイの着用を省略可能としたことは、受傷事故防止の観点からも良い取組だと思う」旨の発言があった。

3 令和7年秋の褒章等受章者の決定について

県警察から、令和7年秋の褒章及び第45回危険業務従事者叙勲の受章者が決定した旨の報告があった。

委員から、「今回、受章が決まった皆様のこれまでの御協力に感謝申し上げる。引き続き、警察活動への御理解と御協力をお願いしたい」旨の発言があった。

4 令和7年9月中の苦情申出の受理・処理状況及び感謝事例について

県警察から、令和7年9月中の苦情申出の受理・処理状況等について報告があった。

委員から、「県民からの応援メッセージで、警察官が不登校気味の女子児童に声掛けをしたことが紹介されていたが、非常に勇気ある行動だと思う。保護者の了承を得て声掛けをしたとのことであるが、児童には様々な不安や悩みがあったものと推察される。そのような中、警察官による的確で心優しい声掛けにより学校に行くことができたとのことであり、警察官として頼もしく心温まるエピソードだと思った」、「苦情の対応については、これまでどおり、丁寧かつスピーディーな対応をお願いしたい」旨の発言があった。

5 令和7年度第4回公安委員会の交通規制（専決分）の実施について

県警察から、公安委員会の交通規制（専決分）については、「JR坂出駅周辺の再開発に伴う交通規制の実施」、「生活道路の安全対策（一時停止規制の新設）」等、合計22か所（区間）を実施する旨の報告があった。

委員から、「今回、JR坂出駅周辺の再開発に伴い、交通規制を大きく変更するということであるが、一方通行の新設や横断歩道の移設により駅周辺の人・車の移動や回遊性の向上につながると思う。引き続き、各地域の交通実態及び交通環境に即した交通規制に努めていただきたい」旨の発言があった。

第7 決裁

- 1 公安委員会宛て苦情受理報告について
- 2 公安委員会宛て苦情処理結果報告について
- 3 元地域交通安全活動推進委員に対する表彰について

第8 その他

1 交通死亡事故抑止について

県警察から、「最近、飲酒に起因する交通事故や交通違反の検挙が増えている。例年の統計によると11月から12月末にかけて飲酒事故が多発する傾向にあることから、今後、県警察を挙げて飲酒運転に対する取締りを強化していく」旨の報告があった。

2 サイバーコンテストへの出場について

県警察から、高度な専門的知識及び技術を有するサイバー人材の育成を図るため、警察庁主催のサイバーコンテストへ出場する旨の報告があった。

委員から、「人材育成の観点から、今後の活躍が期待される若手捜査員

を中心に出場させることであるが、良いことだと思う。これを機会に、是非、サイバー事案に対する知識・能力の向上に努めていただきたい」旨発言があった。

3 教育委員会との意見交換会の発表資料説明について

県警察から、令和7年11月6日（木）に開催される第21回子供の安全対策意見交換会での発表資料「子供をネットトラブルから守るための対策（犯罪の未然防止と再非行防止対策）」、「児童生徒に対する自転車の安全利用対策」について説明があった。

4 令和7年人事委員会給与勧告の概要について

県警察から、人事委員会は、県職員の給与及び期末・勤勉手当の引上げ等について県議会議長と知事に勧告した旨の報告があった。

5 職員の軽装勤務の通年化の実施について

県警察から、県警察における夏季の私服勤務時の服装については、これまでノーネクタイ・ノージャケット等の軽装勤務を推奨してきたところ、今後は期間を夏季に限定することなく、軽装での勤務を通年で可能とする「ナチュラル・ビズ」の運用を開始する予定である旨の報告があった。

6 レベル4自動運転サービスに向けた取組の進捗状況について

県警察から、現在、県内では4自治体（高松市、三豊市、土庄町、坂出市）で自動運転レベル2の走行実証が実施又は予定されているところ、三豊市では、自動運転車両と信号機を無線で連携させた信号協調実験を実施し、その検証等を踏まえ、令和8年中に「特定自動運行許可」（レベル4）の取得を目指している旨の報告があった。

7 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等の実施状況について

県警察から、9月中のストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等の実施状況について報告があった。

8 犯罪被害者等給付金支給裁定の申請受理等について

県警察から、犯罪被害者等給付金支給裁定の申請を受理した旨の報告があった。

9 全国公安委員会連絡会議（代表者会議）の発表資料説明について

県警察から、令和7年11月17日（月）に開催される令和7年度全国公安委員会連絡会議分科会での発表資料「匿名・流動型犯罪グループ対策」について説明があった。

- 10 公安委員会宛ての苦情の処理結果について
県警察から、受理した苦情について、事実関係及び措置状況について報告があり、審議の上、通知する内容を決定した。
- 11 運転免許の取消し等の審議について
県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。
- 12 行政処分の状況について
県警察から、令和7年9月分の運転免許に係る行政処分の状況について報告があった。